

県民満足度調査結果

(教育編)

平成25年8月
岡山県

目次

第Ⅰ部 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法等	1
3. 分析・表示について	1

第Ⅱ部 アンケート結果

■Ⅰ あなたご自身について

問1 (1) 性別及び年齢階層	2
問1 (2) 世帯構成	2
問1 (3) 同居の子どもの有無	3
問1 (4) 子どもの成長段階	3
問1 (5) 居住地域	3
問1 (6) 県内での通算居住年数	4
問1 (7) 職業	4

■Ⅱ 教育について

問1 5 学校教育（特に義務教育）に何を期待していますか	5
問1 6 学校の応援団として学校支援に参加することについて	11
問1 7 学校支援活動にこれまで参加していない理由	18

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

第3次おかやま夢づくりプランに基づいて実施する施策によって、県民の満足度がどの程度向上しているかを把握することを目的にアンケート調査を実施した。

2 調査の方法等

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 調査地域 | 岡山県内市町村 |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の 20 歳以上の男女 2,500 人 |
| (3) 調査方法 | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収） |
| (4) 回収結果 | 1,405 人（回答率 56.2%） |
| (5) 調査期間 | 平成 25 年 6 月 5 日（水）～6 月 21 日（金） |

3 分析・表示について

1. 比率については少数点以下第 2 位以下を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
2. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
3. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100%を超えている。
4. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

第Ⅱ部 アンケート結果

I あなたご自身について

■問1(1)性別及び年齢階層

単位:上段は人、下段の()内は%

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無回答	計
男 性	37 (6.3)	86 (14.6)	97 (16.4)	88 (14.9)	146 (24.7)	135 (22.9)	1 (0.2)	590 (42.0)
女 性	55 (8.9)	98 (15.8)	114 (18.4)	101 (16.3)	117 (18.9)	132 (21.3)	3 (0.5)	620 (44.1)
無回答	7 (3.6)	6 (3.1)	18 (9.2)	25 (12.8)	58 (29.7)	73 (37.4)	8 (4.1)	195 (13.9)
計	99 (7.0)	190 (13.5)	229 (16.3)	214 (15.2)	321 (22.8)	340 (24.2)	12 (0.9)	1,405 (100.0)

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位:()内は%

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上		計
構成比	(12.5)	(15.7)	(15.3)	(14.5)	(18.2)	(23.9)		(100.0)

(注)上記構成比は、平成 24 年 10 月 1 日現在の岡山県毎月流動人口調査から算出

(注)比率は全て小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならないことがある。

■問1(2)世帯構成

単位:上段は人、下段の()内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の 二世帯	親・子・孫の 三世帯	その他	無回答	計
構成比	148 (10.5)	334 (23.8)	648 (46.1)	219 (15.6)	31 (2.2)	25 (1.8)	1,405 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位:()内は%

	親族世帯							非親族 世帯	単独 世帯
	親族世帯 全体	核家族世帯					その他の 親族世帯		
		核家族 世帯全体	夫婦のみ の世帯	夫婦と子 供から成 る世帯	男親と子 供から成 る世帯	女親と子 供から成 る世帯			
構成比	(69.2)	(56.4)	(20.5)	(27.4)	(1.2)	(7.2)	(12.8)	(0.7)	(30.0)

(注)上記構成比は、平成 22 年 10 月 1 日現在の国勢調査から算出

(注)比率は全て小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならないことがある。

■問1(3)同居の子どもの有無

単位:上段は人、下段の()内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	636 (45.3)	656 (46.7)	113 (8.0)	1,405 (100.0)

■問1(4)子どもの成長段階

単位:上段は人、下段の()内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大 学、大学院 専門学校 などの 学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	115 (8.2)	154 (11.0)	109 (7.8)	102 (7.3)	86 (6.1)	573 (40.8)	55 (3.9)	460 (32.7)	1,405 (100.0)

■問1(5)居住地域

単位:上段は人、下段の()内は%

市町村	回答者数	配布者数	市町村	回答者数	配布者数	市町村	回答者数	配布者数
岡山市	445 (31.7)	911 (36.4)	赤磐市	32 (2.3)	56 (2.2)	奈義町	7 (0.5)	8 (0.3)
倉敷市	350 (24.9)	602 (24.1)	真庭市	36 (2.6)	63 (2.5)	西粟倉村	2 (0.1)	3 (0.1)
津山市	84 (6.0)	134 (5.4)	美作市	24 (1.7)	40 (1.6)	久米南町	4 (0.3)	7 (0.3)
玉野市	46 (3.3)	85 (3.4)	浅口市	27 (1.9)	47 (1.9)	美咲町	11 (0.8)	21 (0.8)
笠岡市	48 (3.4)	71 (2.8)	和気町	16 (1.1)	20 (0.8)	吉備中央 町	11 (0.8)	17 (0.7)
井原市	28 (2.0)	57 (2.3)	早島町	9 (0.6)	15 (0.6)	無回答	13 (0.9)	
総社市	47 (3.3)	85 (3.4)	里庄町	8 (0.6)	14 (0.6)	合計	1,405 (100.0)	2,500 (56.2)
高梁市	29 (2.1)	46 (1.8)	矢掛町	12 (0.9)	20 (0.8)	備前地域	612 (43.6)	1,188 (47.5)
新見市	30 (2.1)	44 (1.8)	新庄村	3 (0.2)	3 (0.1)	備中地域	588 (41.9)	1,001 (40.0)
備前市	35 (2.5)	49 (2.0)	鏡野町	15 (1.1)	18 (0.7)	美作地域	192 (13.7)	311 (12.4)
瀬戸内市	27 (1.9)	50 (2.0)	勝央町	6 (0.4)	14 (0.6)			

■問1(6)県内での通算居住年数

単位:上段は人、下段の()内は%

	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	無回答	計
構成比	46 (3.3)	53 (3.8)	129 (9.2)	1,166 (83.0)	11 (0.8)	1,405 (100.0)

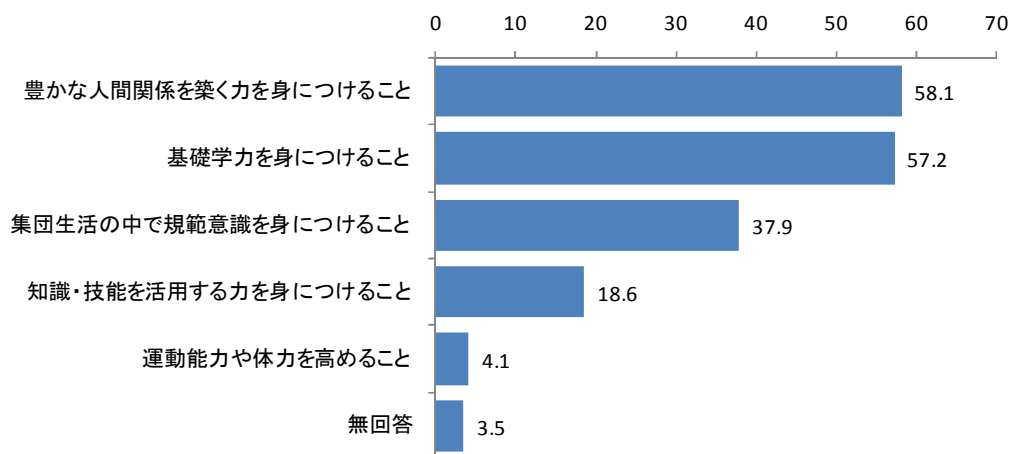
■問1(7)職業

単位:上段は人、下段の()内は%

	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで家 族従業者 を含む)	会社・団体 などの正 社員	会社・団体 などの役 員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	155 (11.0)	421 (30.0)	44 (3.1)	225 (16.0)	143 (10.2)	8 (0.6)	390 (27.8)	19 (1.4)	1,405 (100.0)

Ⅱ 教育について

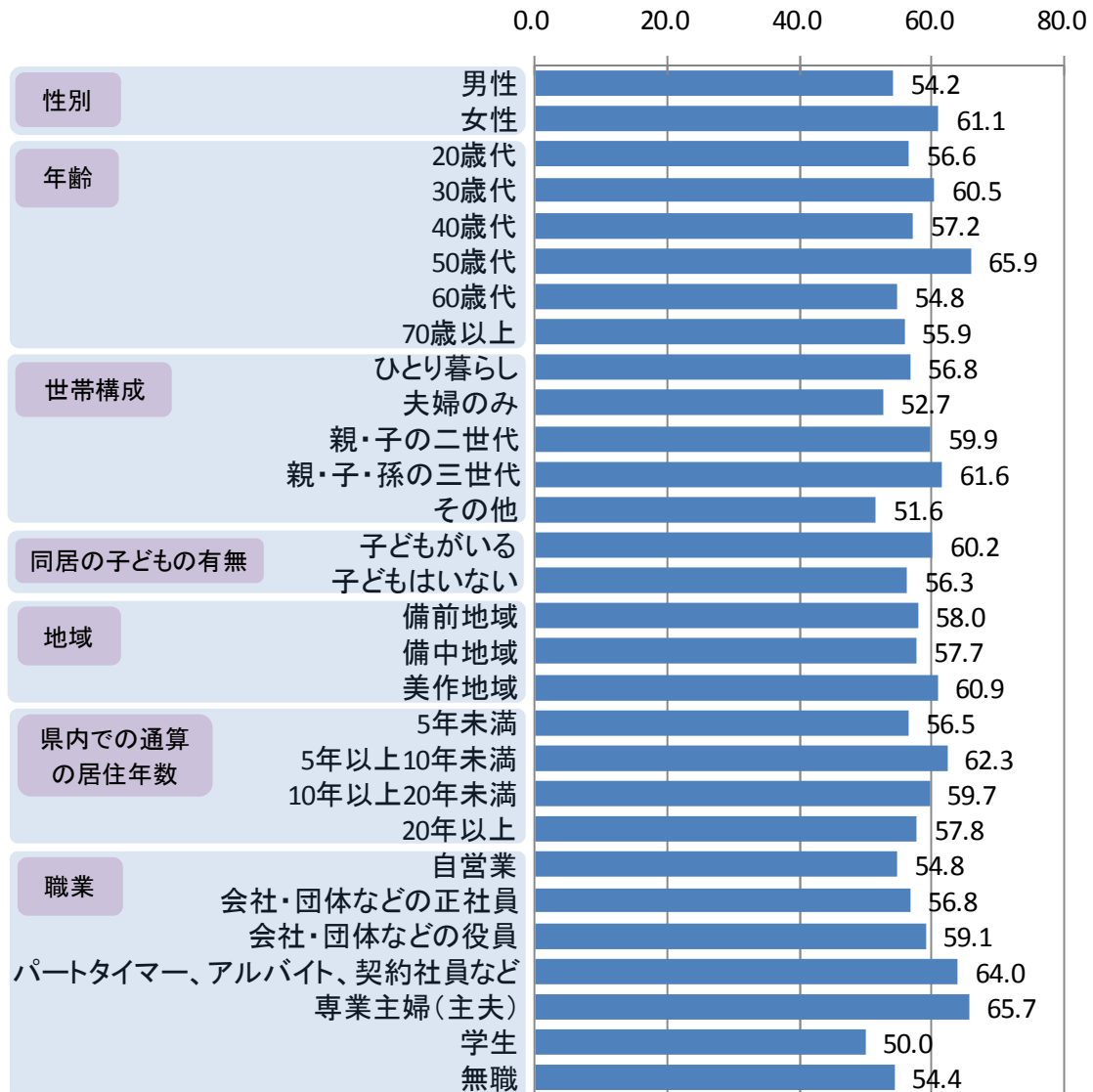
■問15 あなたは、学校教育（特に義務教育）に何を期待していますか。優先するものの番号2つに○印をつけてください。



(n=1,405)

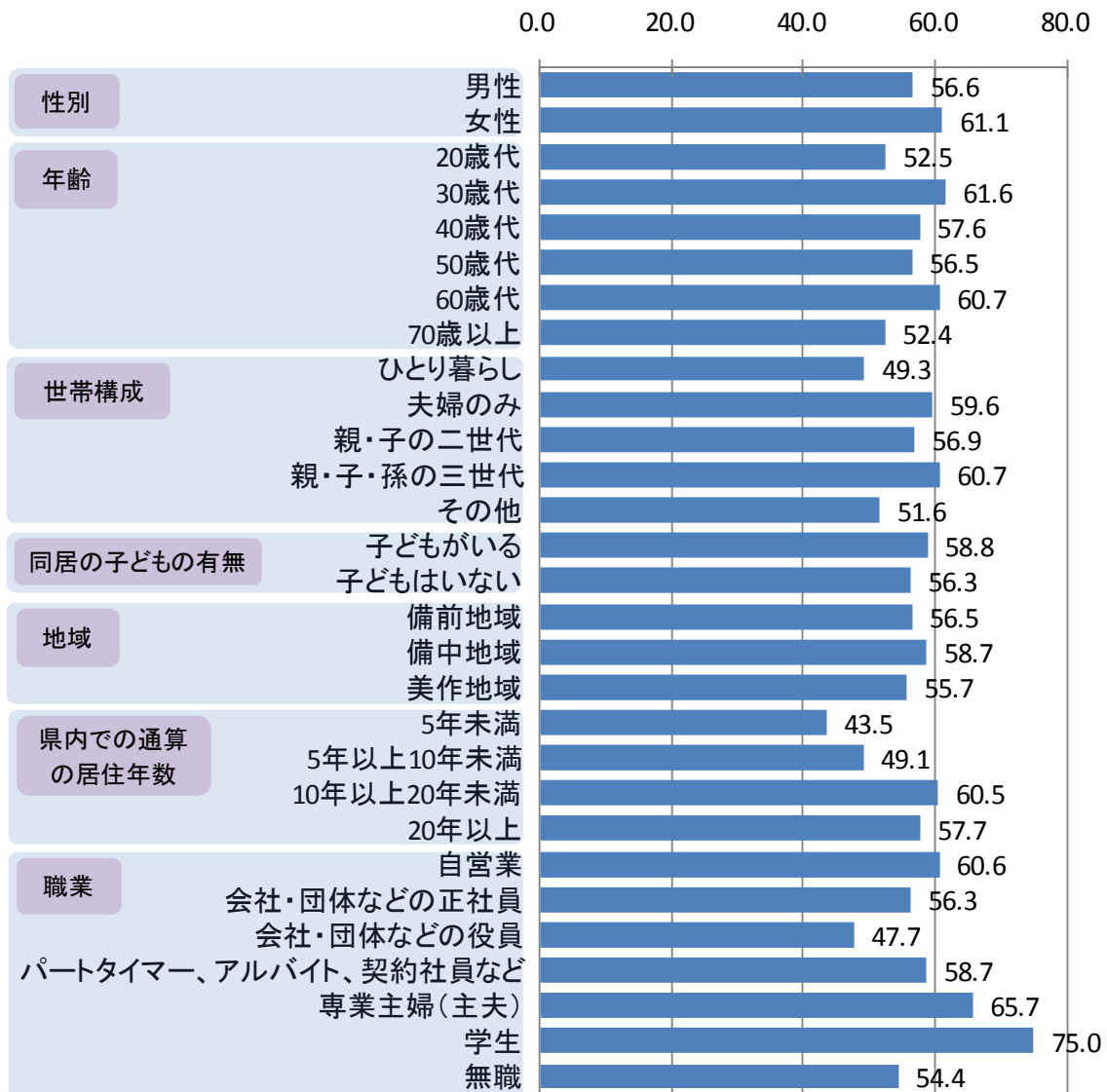
学校教育（特に義務教育）に何を期待していますかについて、「豊かな人間関係を築く力を身につけること」と回答した割合が 58.1%と最も高く、次いで「基礎学力を身につけること」（57.2%）、「集団生活の中で規範意識を身につけること」（37.9%）、「知識・技能を活用する力を身につけること」（18.6%）、「運動能力や体力を高めること」（4.1%）の順となっている。

【豊かな人間関係を築く力を身につけること】



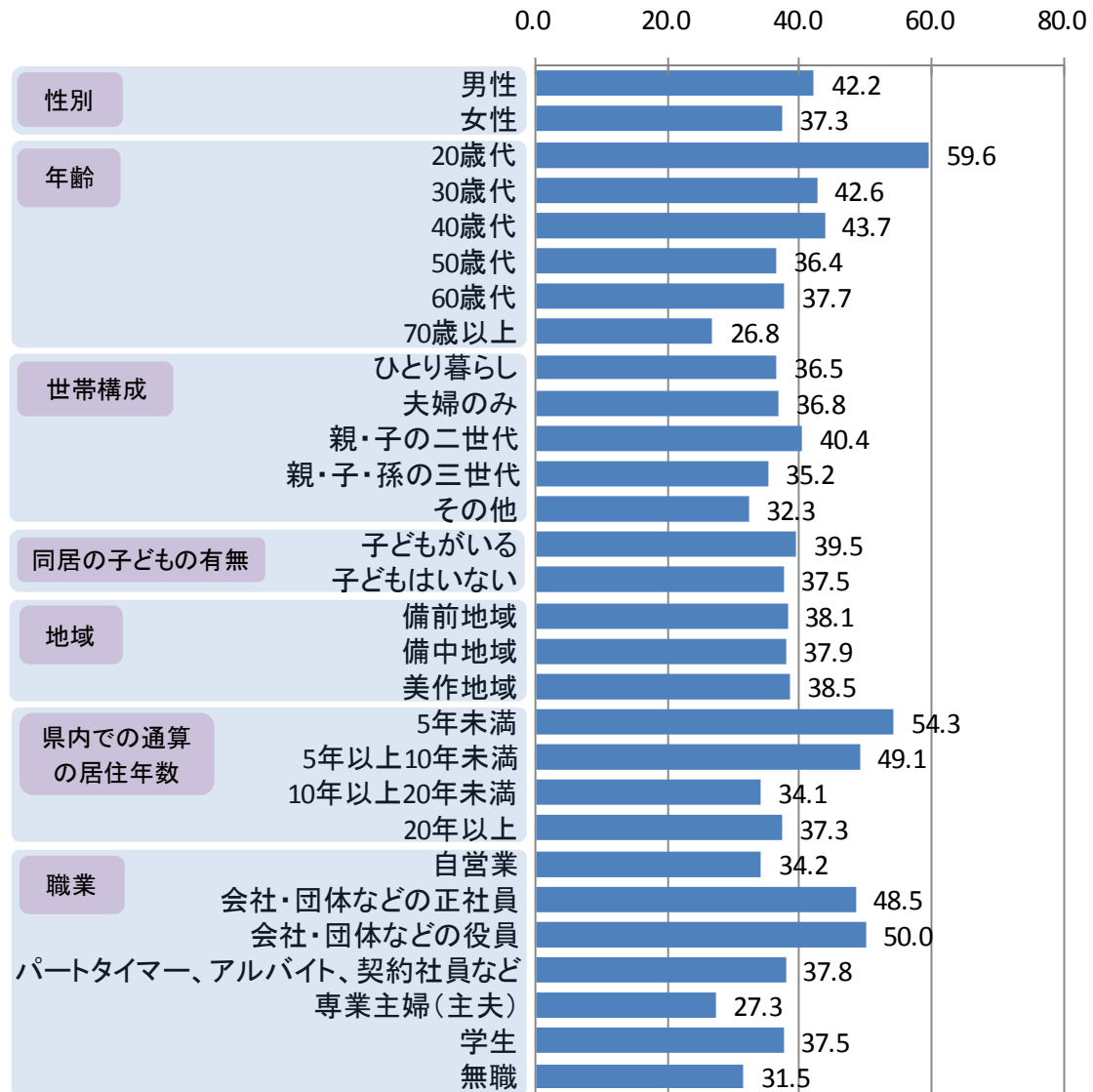
学校教育（特に義務教育）に何を期待していますかについて、「豊かな人間関係を築く力を身につけること」を属性別にみると、年齢別では、「50歳代」が65.9%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子・孫の三世帯」（61.6%）、「親・子の二世帯」（59.9%）が高くなっている。地域別では、「美作地域」が60.9%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年以上10年未満」が62.3%と高くなっている。職業別では、「自営業」（54.8%）、「無職」（54.4%）、「学生」（50.0%）が低くなっている。

【基礎学力を身につけること】



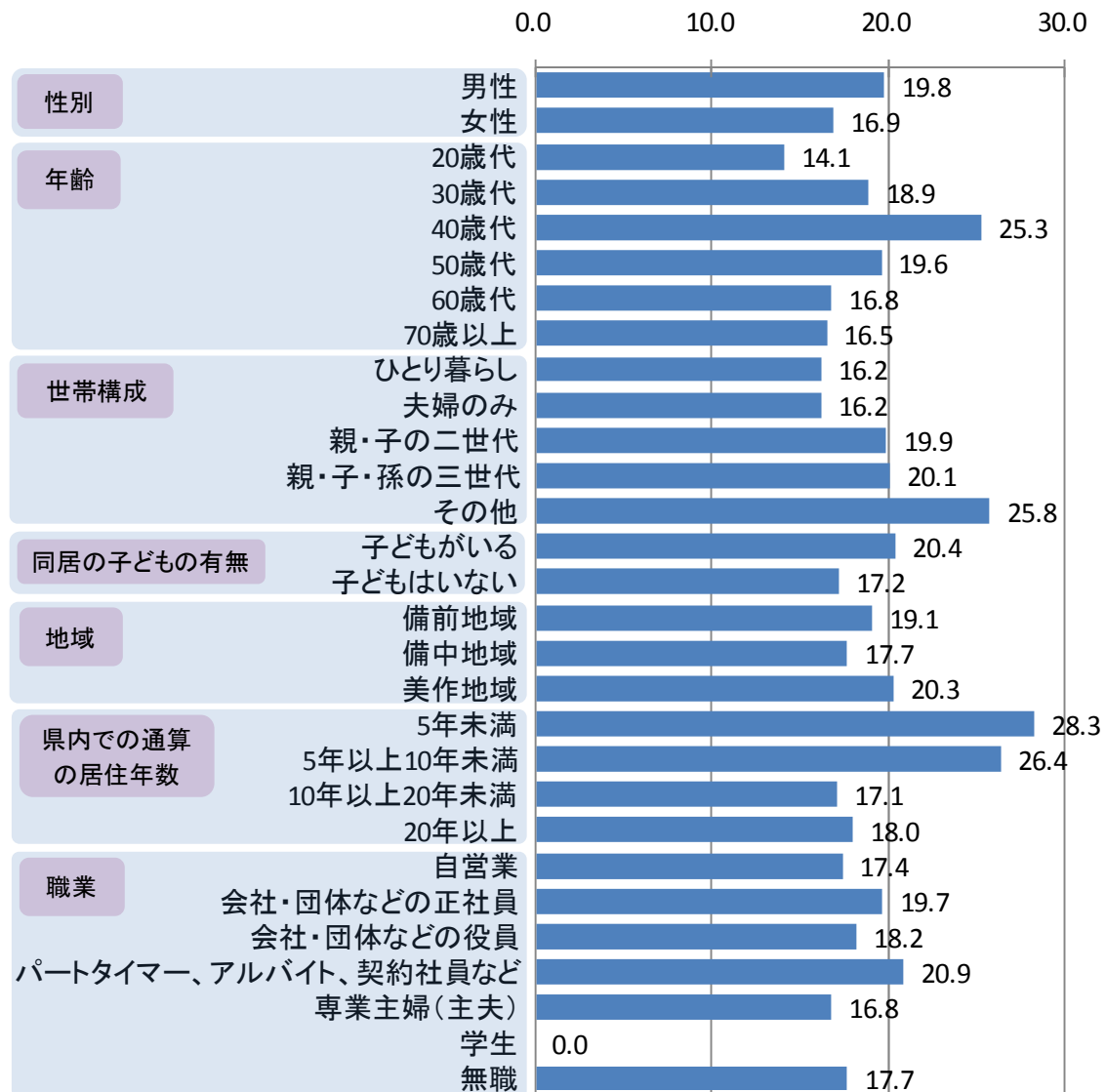
学校教育（特に義務教育）に何を期待していますかについて、「基礎学力を身につけること」を属性別にみると、年齢別では、「30 歳代」が 61.6%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子・孫の三世帯」が 60.7%と高くなっている。地域別では、「美作地域」が 55.7%と低くなっている。県内での通算居住年数別では、「10 年以上 20 年未満」が 60.5%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの役員」が 47.7%と低くなっている。

【集団生活の中で規範意識を身につけること】



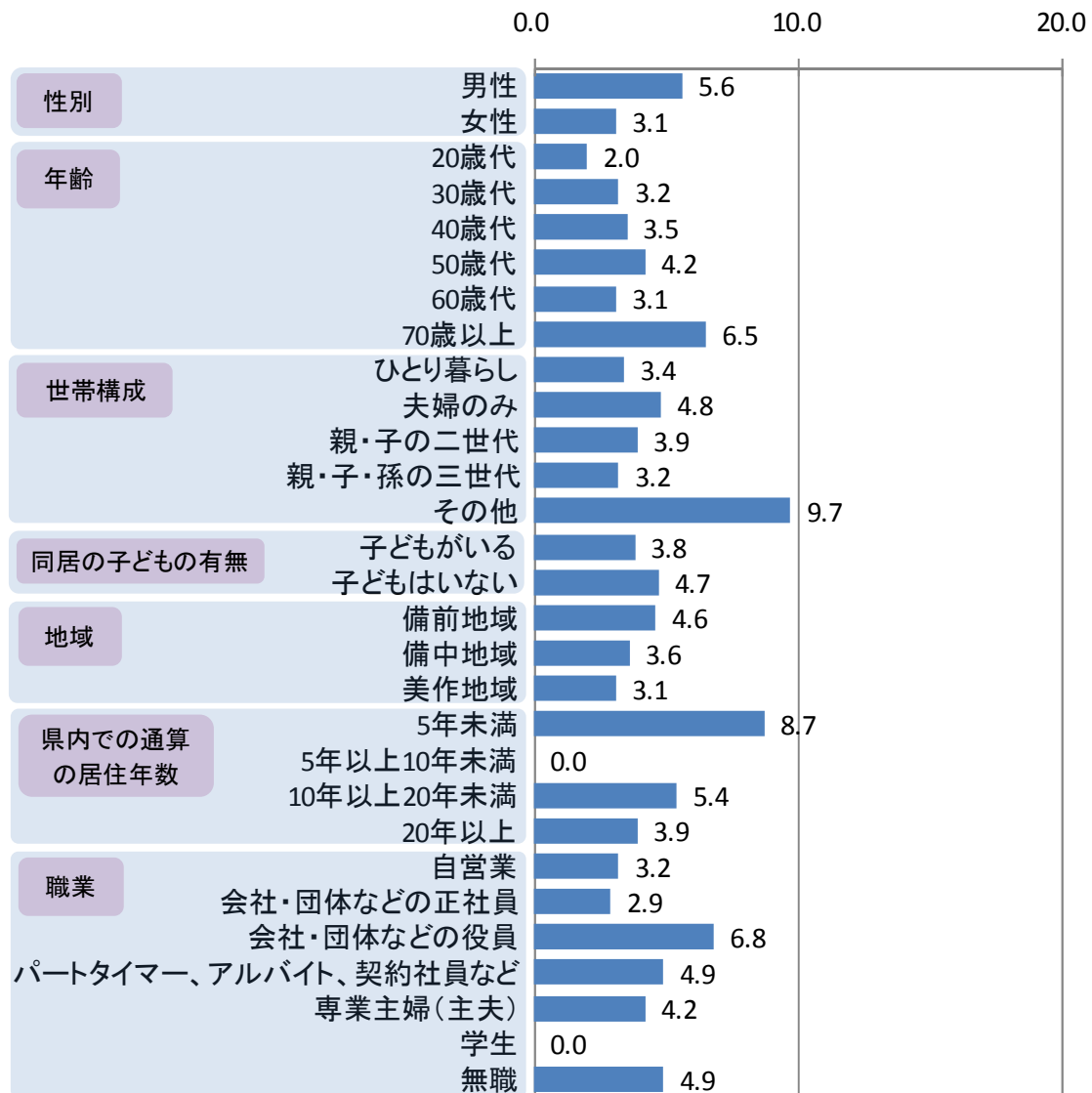
学校教育（特に義務教育）に何を期待していますかについて、「集団生活の中で規範意識を身につけること」を属性別にみると、年齢別では、「20歳代」が59.6%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子の二世帯」が40.4%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年未満」が54.3%と高くなっている。職業別では、「専業主婦（主夫）」が27.3%と低くなっている。

【知識・技能を活用する力を身につけること】



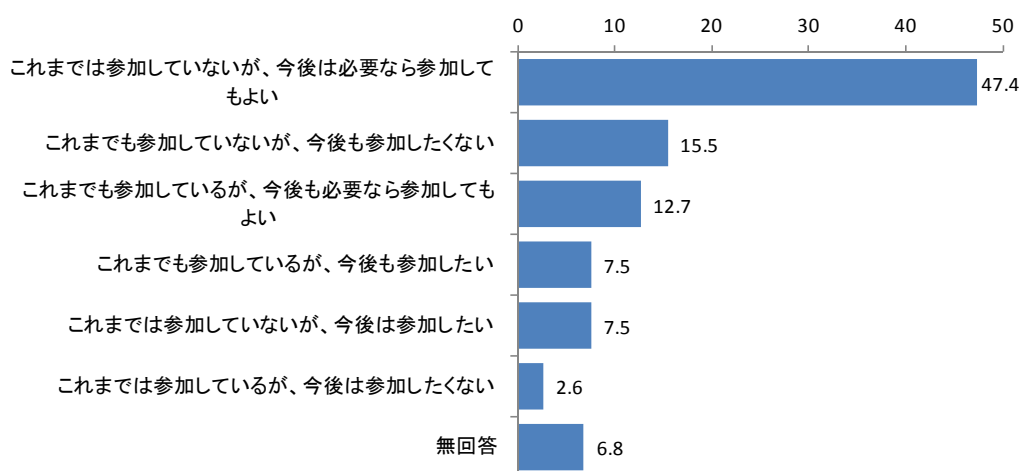
学校教育（特に義務教育）に何を期待していますかについて、「知識・技能を活用する力を身につけること」を属性別にみると、年齢別では、「40歳代」が25.3%と高くなっている。世帯構成別では、「その他」が25.8%と高くなっている。地域別では、「美作地域」が20.3%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年未満」が28.3%と高くなっている。職業別では、「パートタイマー・アルバイト、契約社員など」が20.9%と高くなっている。

【運動能力や体力を高めること】



学校教育（特に義務教育）に何を期待していますかについて、「運動能力や体力を高めること」を属性別にみると、年齢別では、「70 歳以上」が 6.5%と高くなっている。世帯構成別では、「その他」が 9.7%と高くなっている。地域別では、「美作地域」が 3.1%と低くなっている。県内での通算居住年数別では、「5 年未満」が 8.7%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの役員」が 6.8%と高くなっている。

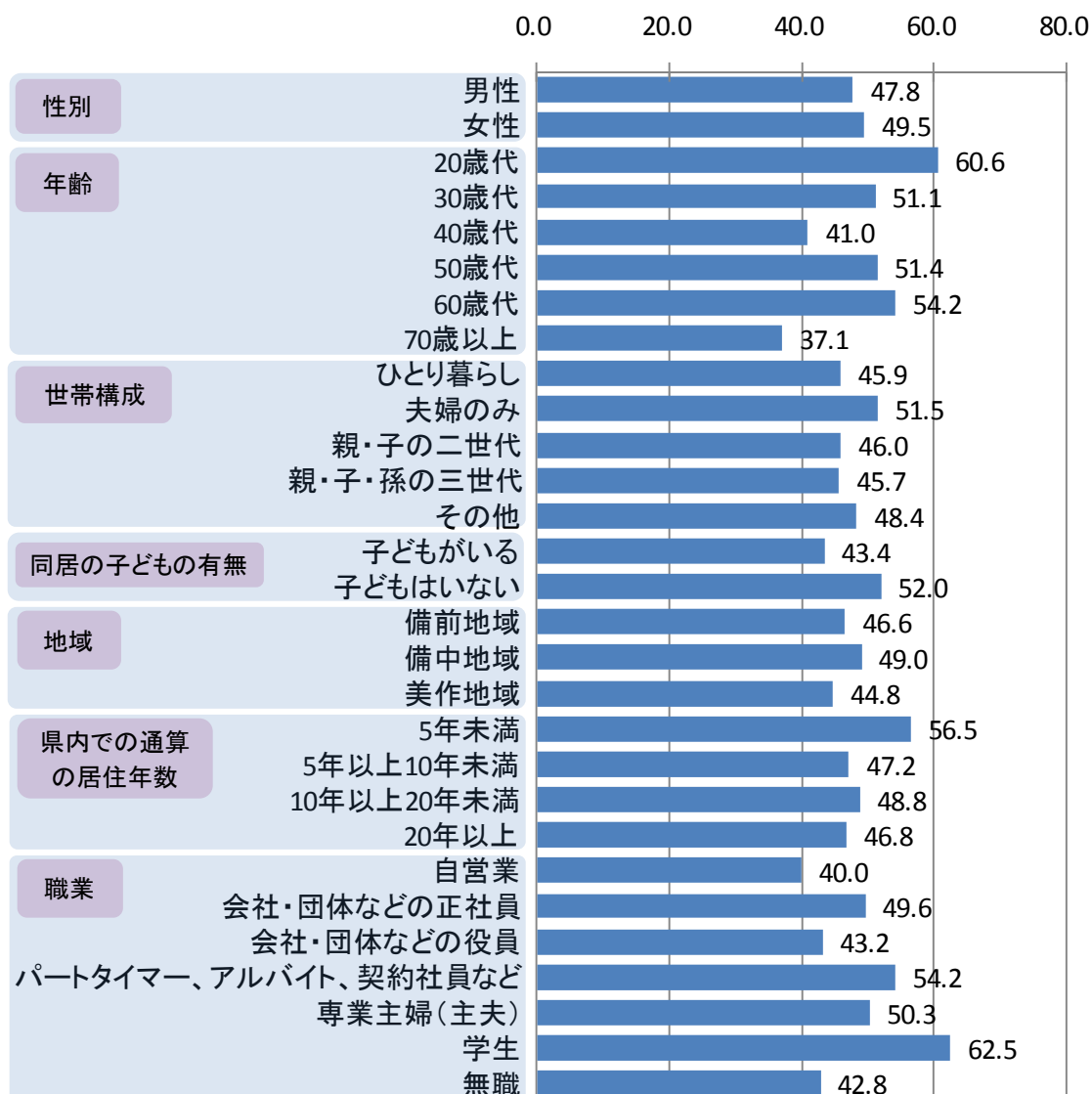
■問16 あなたは、子どもたちの健全育成のために、学校の応援団として学校支援(学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど)に参加することについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



(n=1,405)

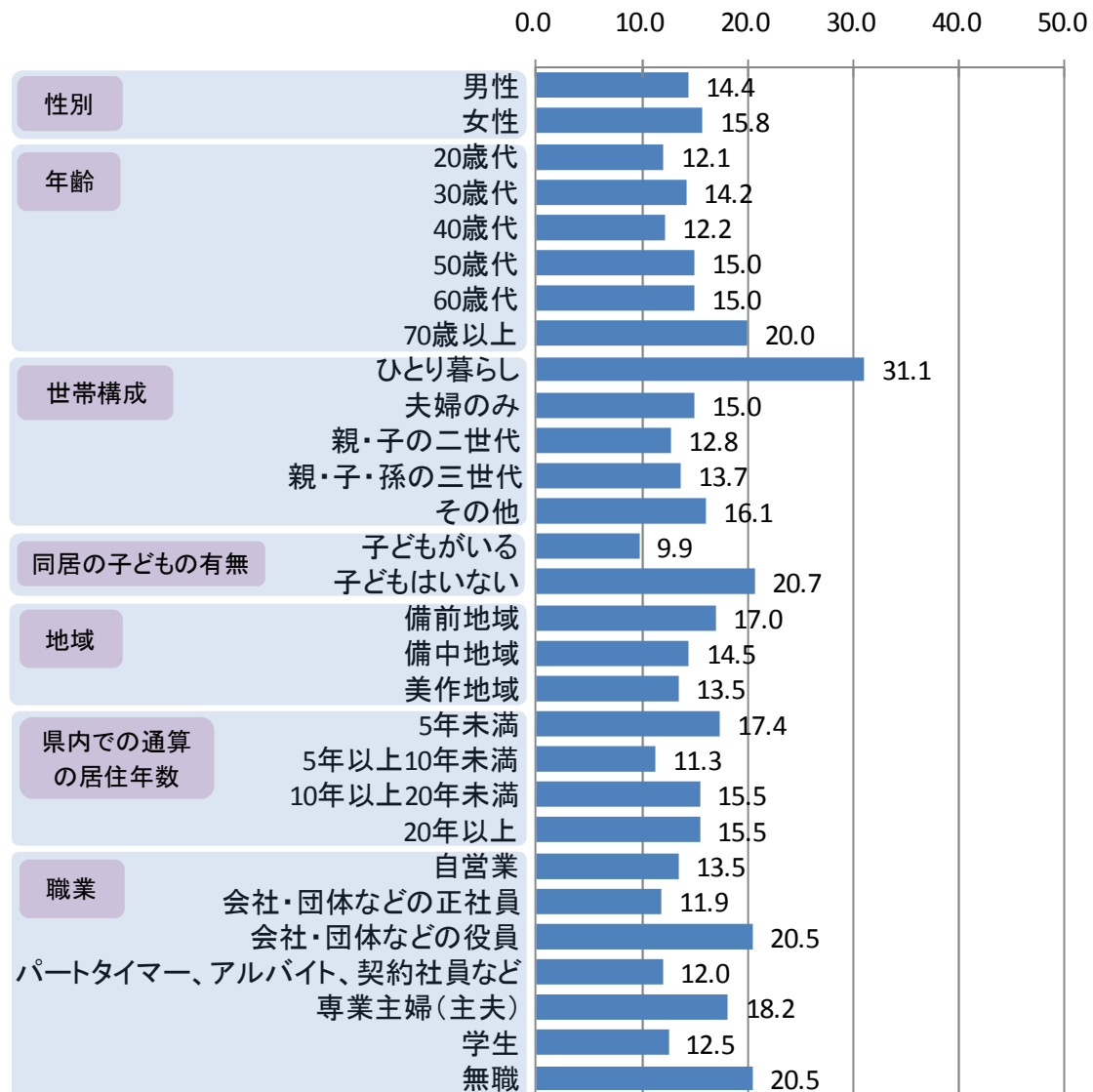
学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでは参加していないが、今後は必要なら参加してもよい」と回答した割合が 47.4%と最も高く、次いで「これまでも参加していないが、今後も参加したくない」（15.5%）、「これまでも参加しているが、今後必要なら参加してもよい」（12.7%）、「これまでも参加しているが、今後も参加したい」、「これまでは参加していないが、今後は参加したい」（共に 7.5%）、「これまでは参加しているが、今後は参加したくない」（2.6%）の順となっている。

【これまでは参加していないが、今後は必要なら参加してもよい】



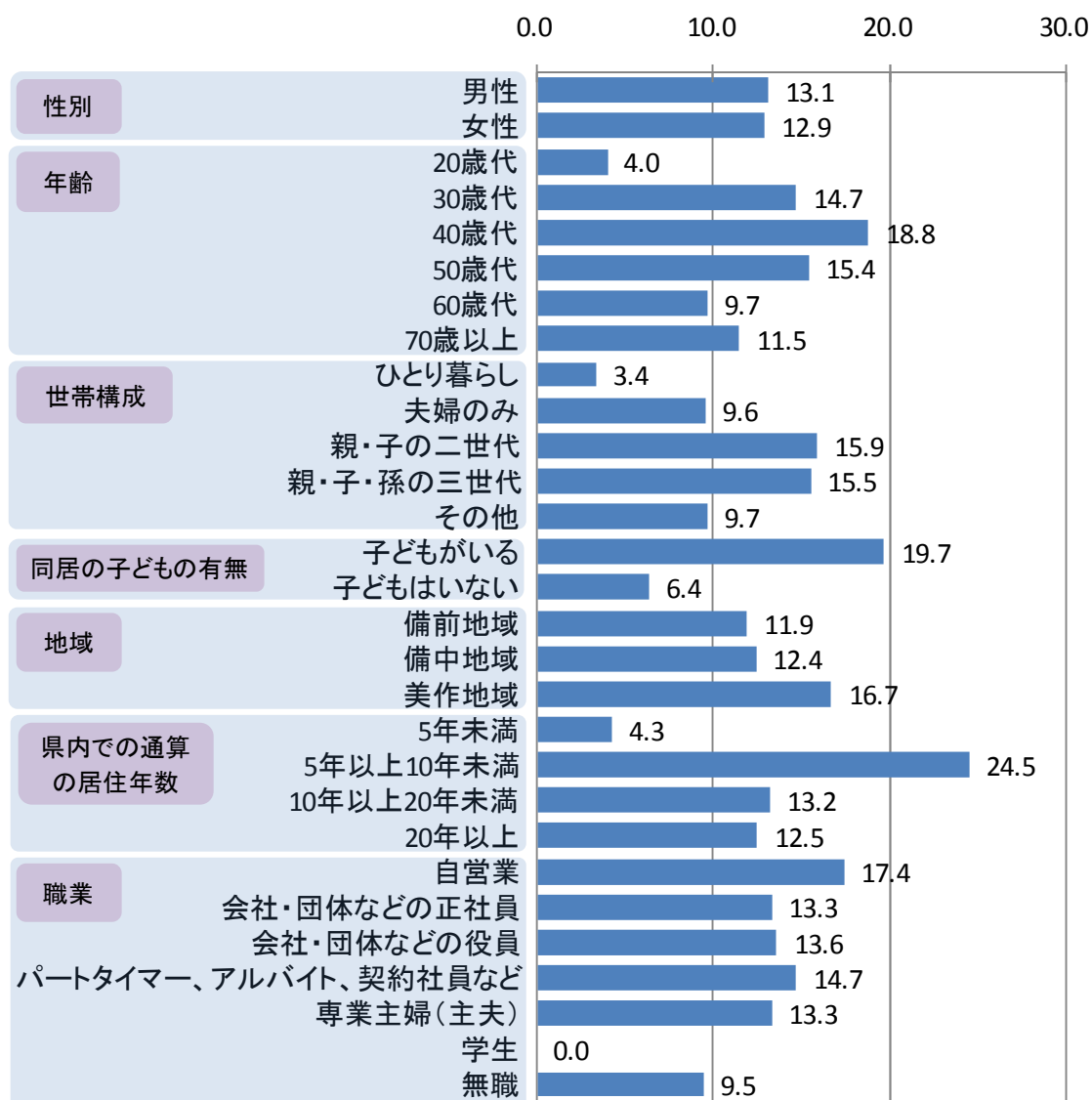
学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでは参加していないが、今後は必要なら参加してもよい」を属性別にみると、年齢別では、「20歳代」が60.6%と高くなっている。世帯構成別では、「夫婦のみ」が51.5%と高くなっている。地域別では、「備中地域」が49.0%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年未満」が56.5%と高くなっている。職業別では、「自営業」（40.0%）、「無職」（42.8%）、「会社・団体などの役員」（43.2%）が低くなっている。

【これまでも参加していないが、 今後も参加したくない】



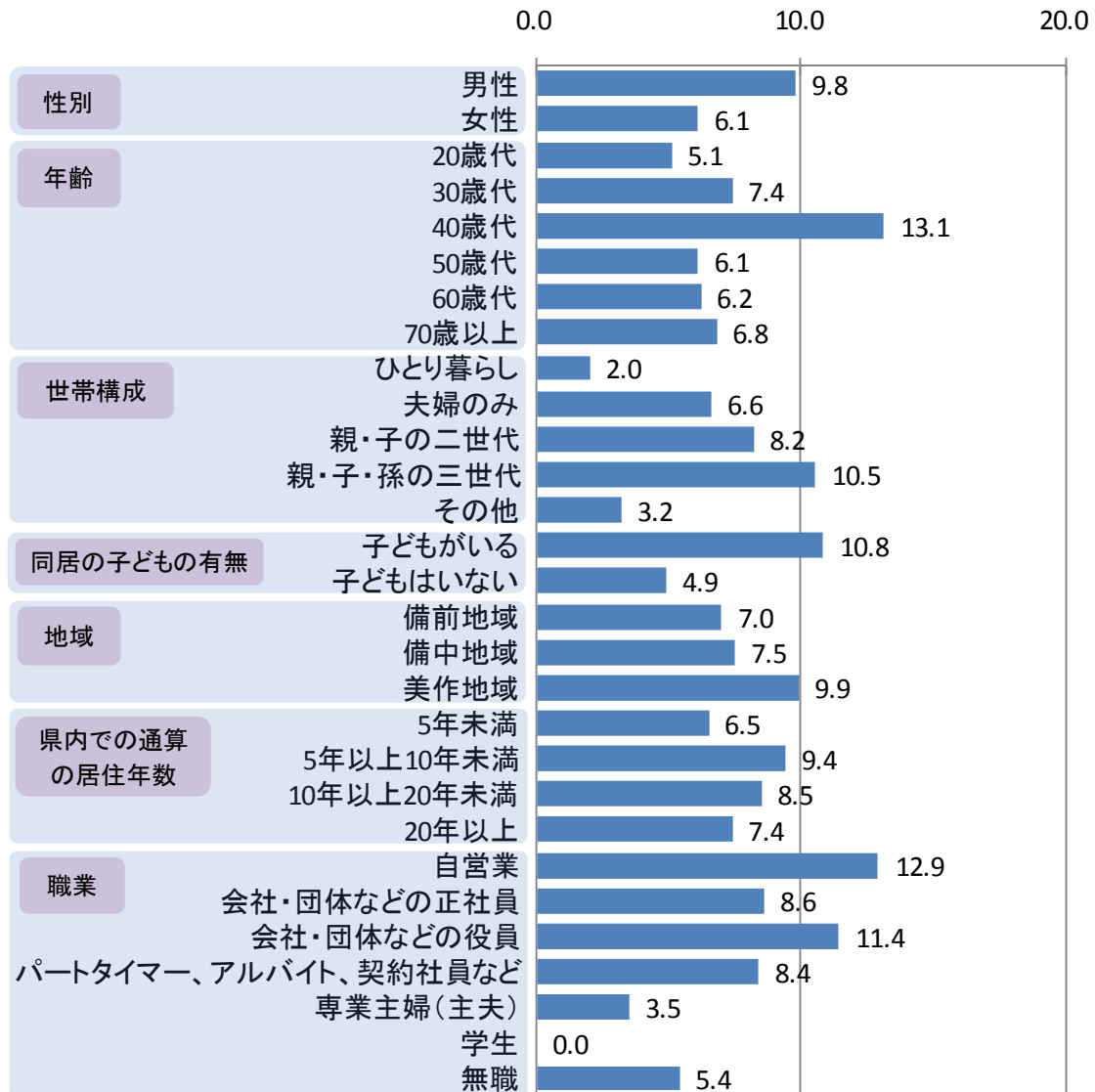
学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでも参加していないが、今後も参加したくない」を属性別にみると、年齢別では、「70 歳以上」が 20.0%と高くなっている。世帯構成別では、「ひとり暮らし」が 31.1%と高くなっている。地域別では、「備前地域」が 17.0%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5 年未満」が 17.4%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの役員」、「無職」（共に 20.5%）が高くなっている。

【これまでも参加しているが、今後もし必要なら参加してもよい】



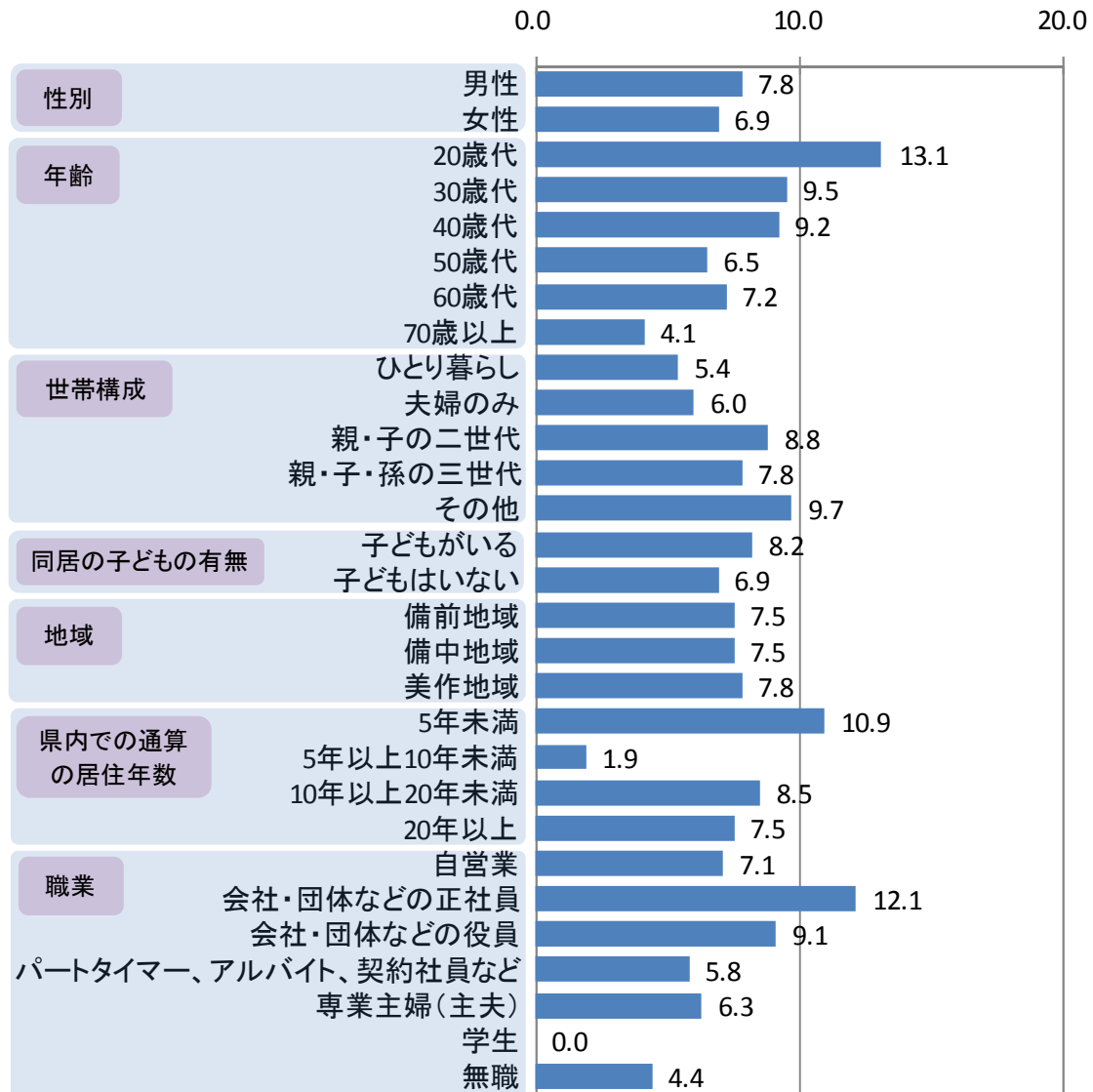
学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでも参加しているが、今後もし必要なら参加してもよい」を属性別にみると、年齢別では、「40歳代」が18.8%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子の二世帯」（15.9%）、「親・子・孫の三世帯」（15.5%）が高くなっている。同居の子どもの有無別では、「子どもがいる」（19.7%）が高くなっている。地域別では、「美作地域」が16.7%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年未満」が4.3%と低いのに対し、「5年以上10年未満」が24.5%と高くなっている。職業別では、「自営業」が17.4%と高くなっている。

【これまでも参加しているが、今後も参加したい】



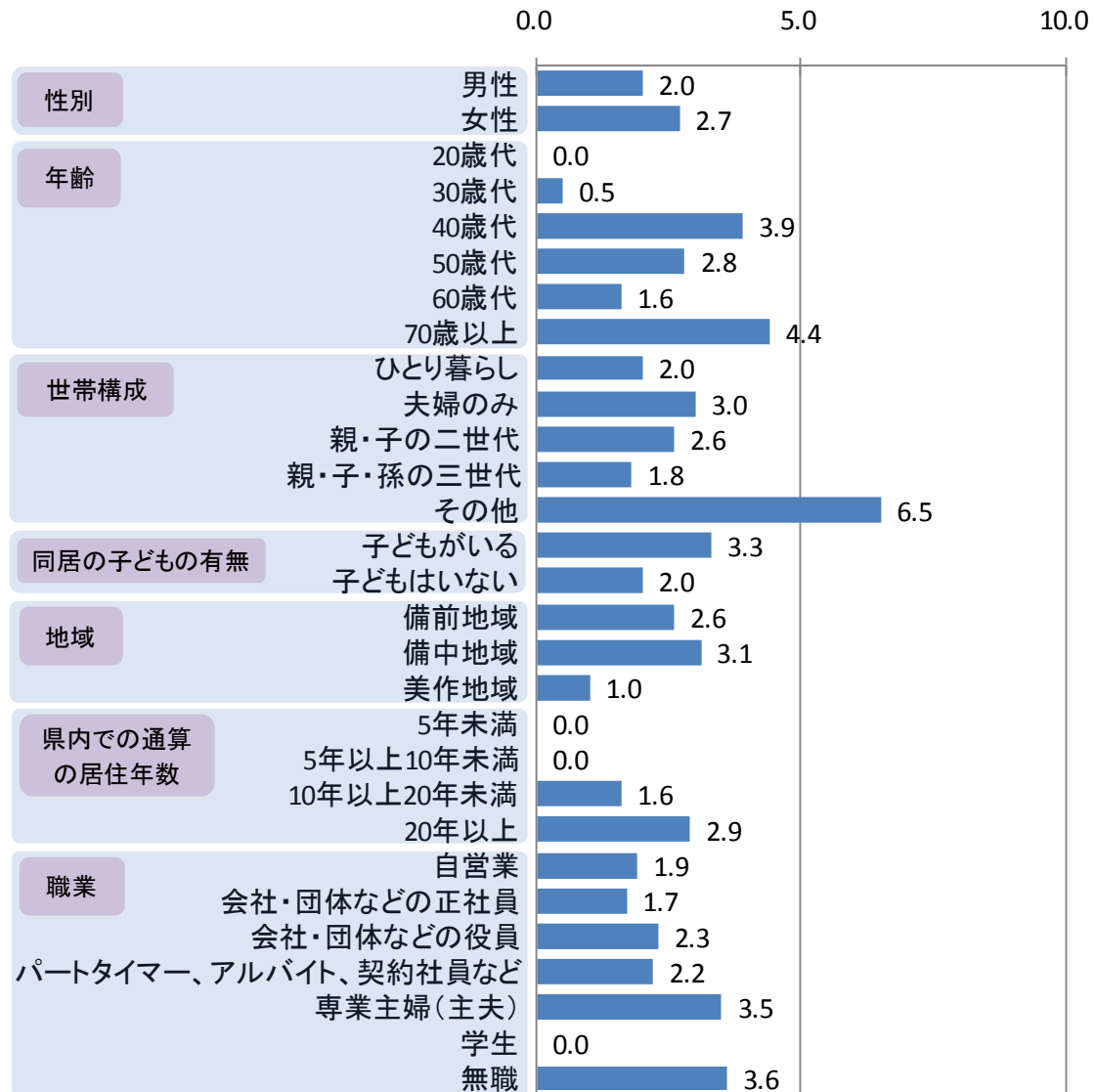
学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでも参加しているが、今後も参加したい」を属性別にみると、年齢別では、「40歳代」が13.1%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子・孫の三世帯」（10.5%）、「親・子の二世帯」（8.2%）が高くなっている。同居の子どもの有無別では、「子どもがいる」（10.8%）が高くなっている。地域別では、「美作地域」が9.9%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年以上10年未満」が9.4%と高くなっている。職業別では、「専業主婦（主夫）」が3.5%と低くなっている。

【これまでは参加していないが、 今後は参加したい】



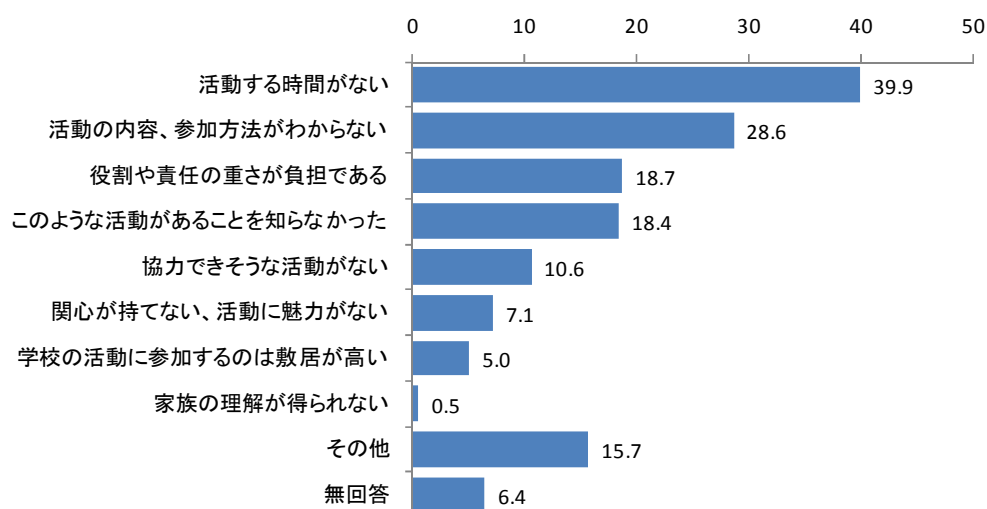
学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでは参加していないが、今後は参加したい」を属性別にみると、年齢別では、「20 歳代」が 13.1%と高くなっている。世帯構成別では、「その他」が 9.7%と高くなっている。県内での通算居住年数別では「5 年以上 10 年未満」が 1.9%と低くなっている。職業別では、「会社・団体などの正社員」が 12.1%と高くなっている。

【これまでは参加しているが、今後は 参加したくない】



学校の応援団として学校支援（学習の補助、校内の環境整備、登下校の見守りなど）に参加することについて、「これまでは参加しているが、今後は参加したくない」を属性別にみると、年齢別では、「70 歳以上」が 4.4%、「40 歳代」が 3.9%と高くなっている。世帯構成別では、「その他」が 6.5%と高くなっている。地域別では、「備中地域」が 3.1%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5 年未満」、「5 年以上 10 年未満」から回答は得られなかった。職業別では、「専業主婦（主夫）」（3.5%）、「無職」（3.6%）が高くなっている。

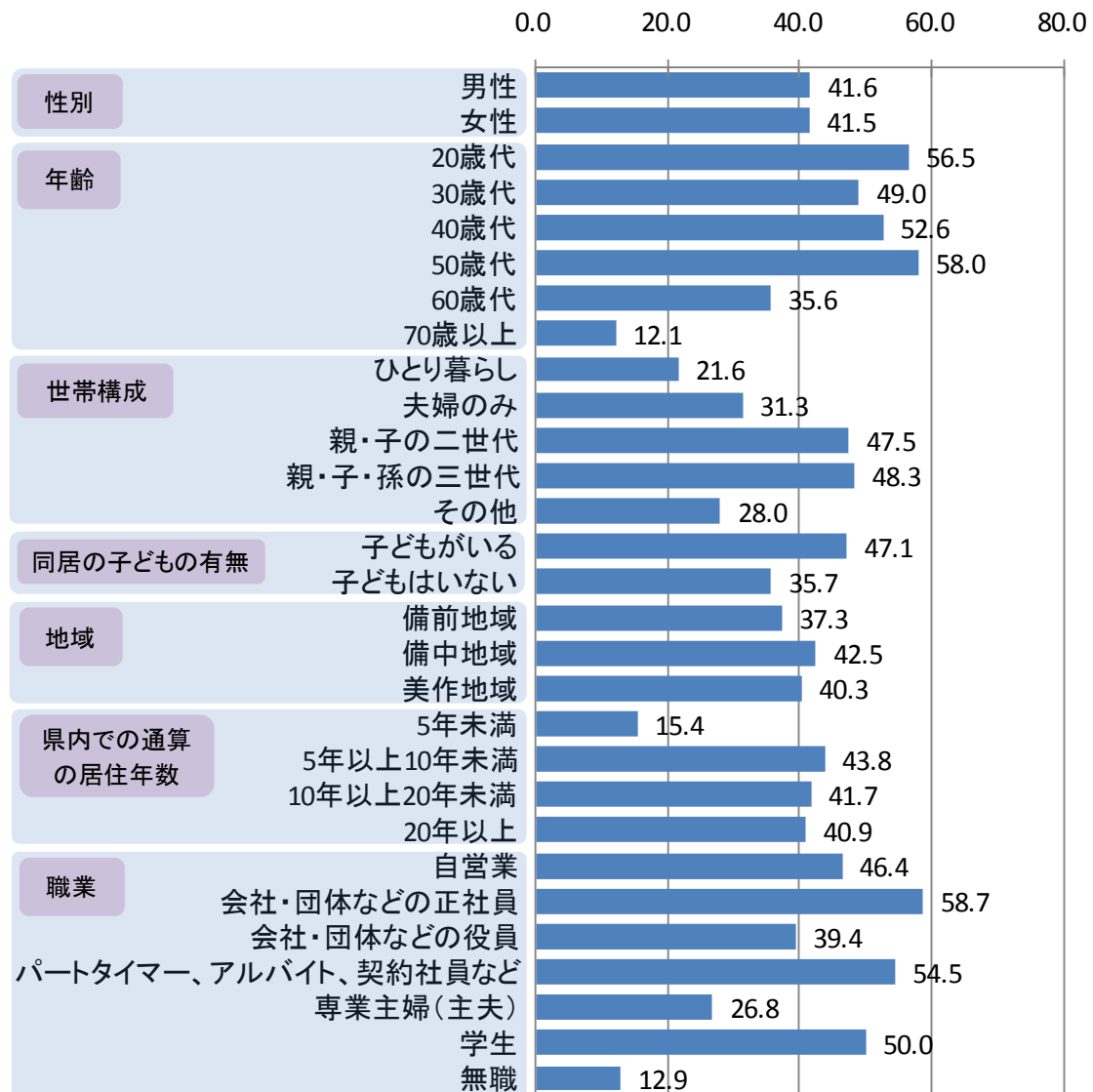
■問17 【問16で、番号3～6に○印をつけた方におたずねします。】あなたが学校支援活動にこれまで参加していない(今後参加したくない)理由を教えてください。あてはまる番号全てに○印をつけてください。



(n=1, 025)

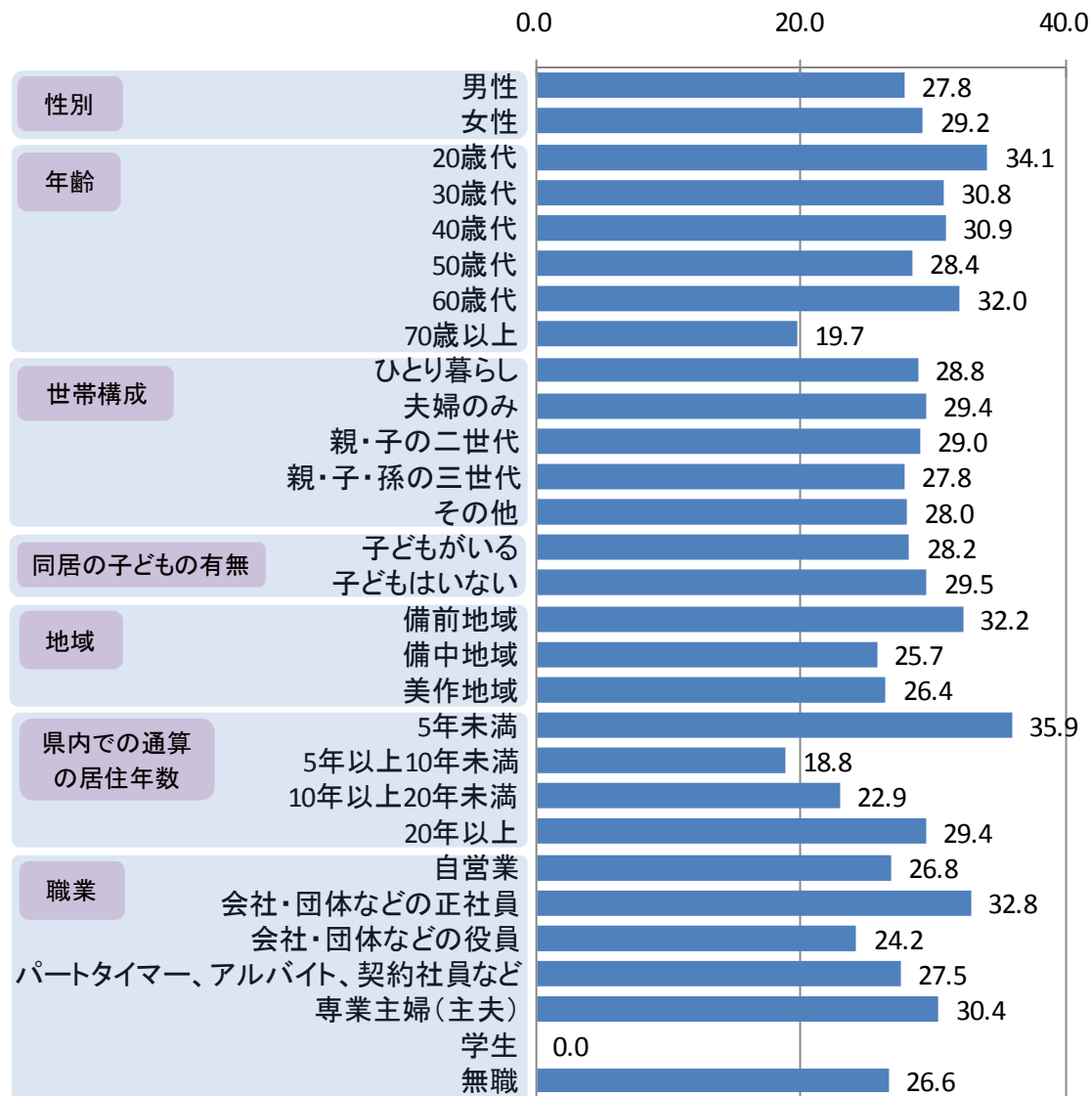
学校支援活動にこれまで参加していない(今後参加したくない)理由について、「活動する時間がない」と回答した割合が 39.9%と最も高く、次いで「活動の内容、参加方法がわからない」(28.6%)、「役割や責任の重さが負担である」(18.7%)、「このような活動があることを知らなかった」(18.4%)、「その他」(15.7%)、「協力できそうな活動がない」(10.6%)、「関心が持てない、活動に魅力がない」(7.1%)、「学校の活動に参加するのは敷居が高い」(5.0%)、「家族の理解が得られない」(0.5%)の順となっている。

【活動する時間がない】



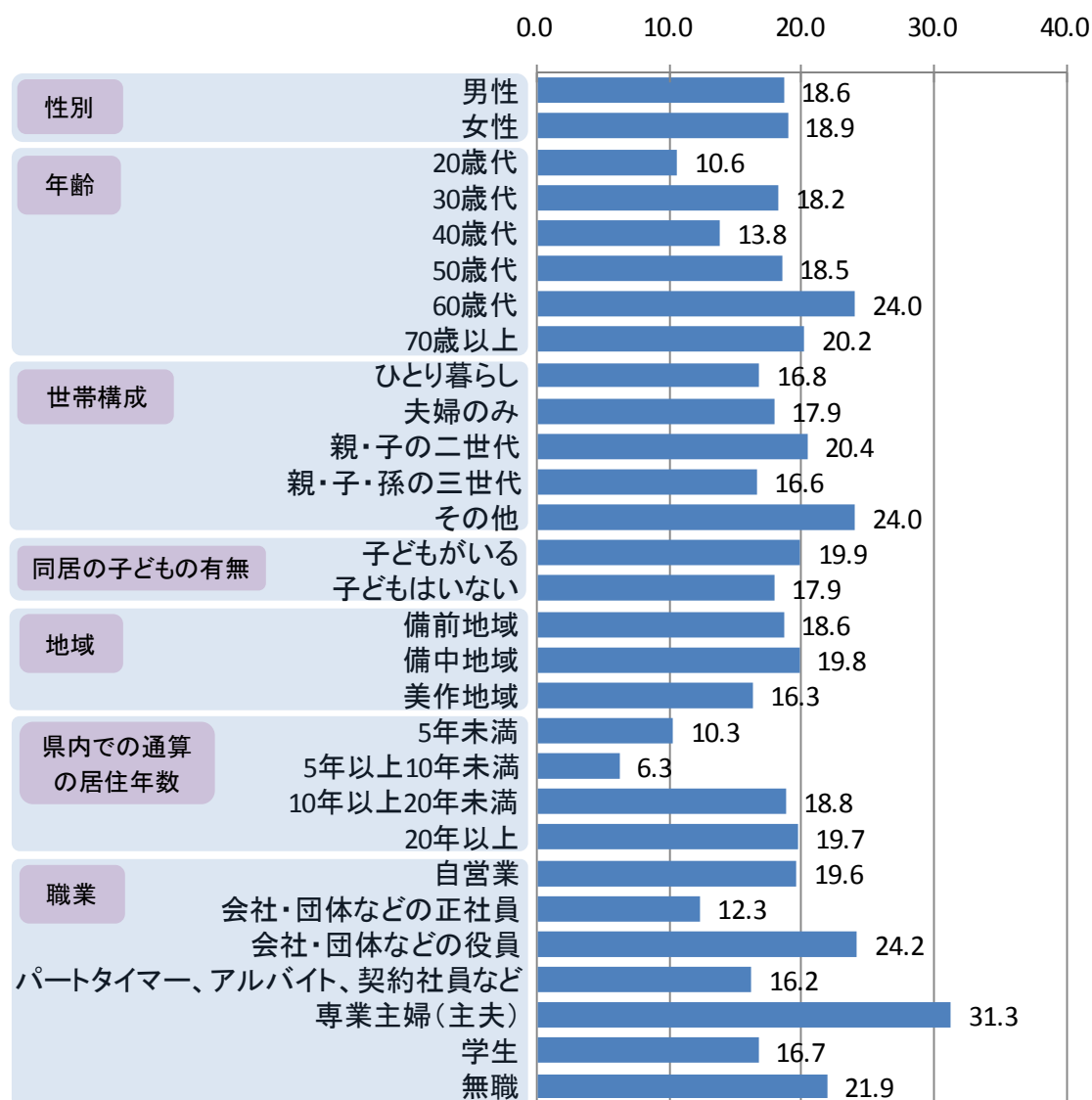
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「活動する時間がない」を属性別にみると、年齢別では、「20 歳代」から「50 歳代」にかけて、5 割程度と高く、「50 歳代」では 58.0%と最も高くなっている。世帯構成別では、「親・子・孫の三世帯」（48.3%）、「親・子の二世帯」（47.5%）が高くなっている。地域別では、「備中地域」が 42.5%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5 年未満」が 15.4%と低くなっている。職業別では、「会社・団体などの正社員」（58.7%）、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（54.5%）が高くなっている。

【活動の内容、参加方法がわからない】



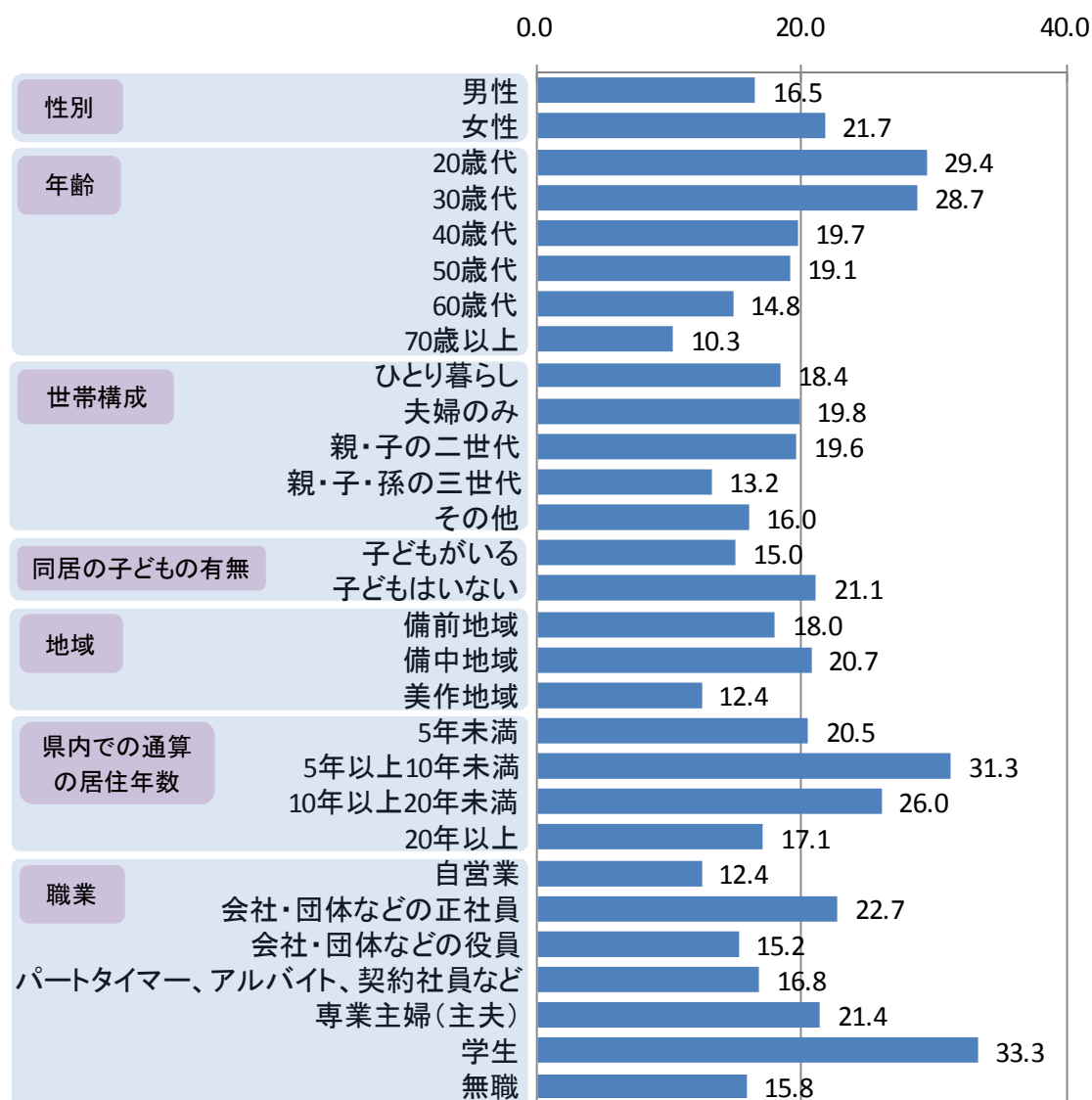
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「活動の内容、参加方法がわからない」を属性別にみると、年齢別では、「20歳代」（34.1%）、「60歳代」（32.0%）が高くなっている。地域別では、「備前地域」が32.2%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年未満」が35.9%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの正社員」（32.8%）、「専業主婦（主夫）」（30.4%）が高くなっている。

【役割や責任の重さが負担である】



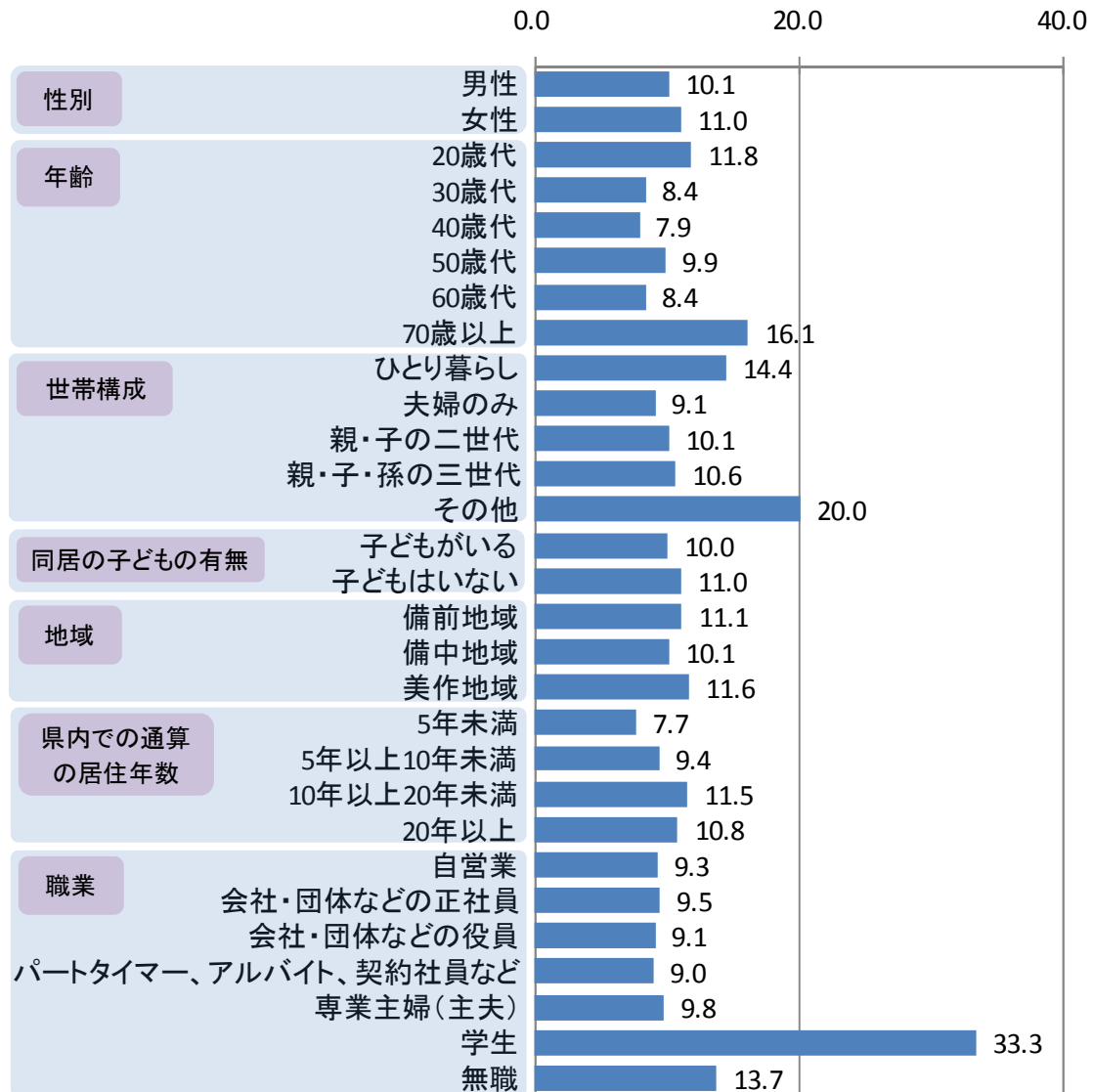
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「役割や責任の重さが負担である」を属性別にみると、年齢別では、「60歳代」が24.0%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子の二世帯」（20.4%）、「その他」（24.0%）が高くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年以上10年未満」が6.3%と低くなっている。職業別では、「専業主婦（主夫）」が31.3%と高くなっている。

【このような活動があることを知らなかった】



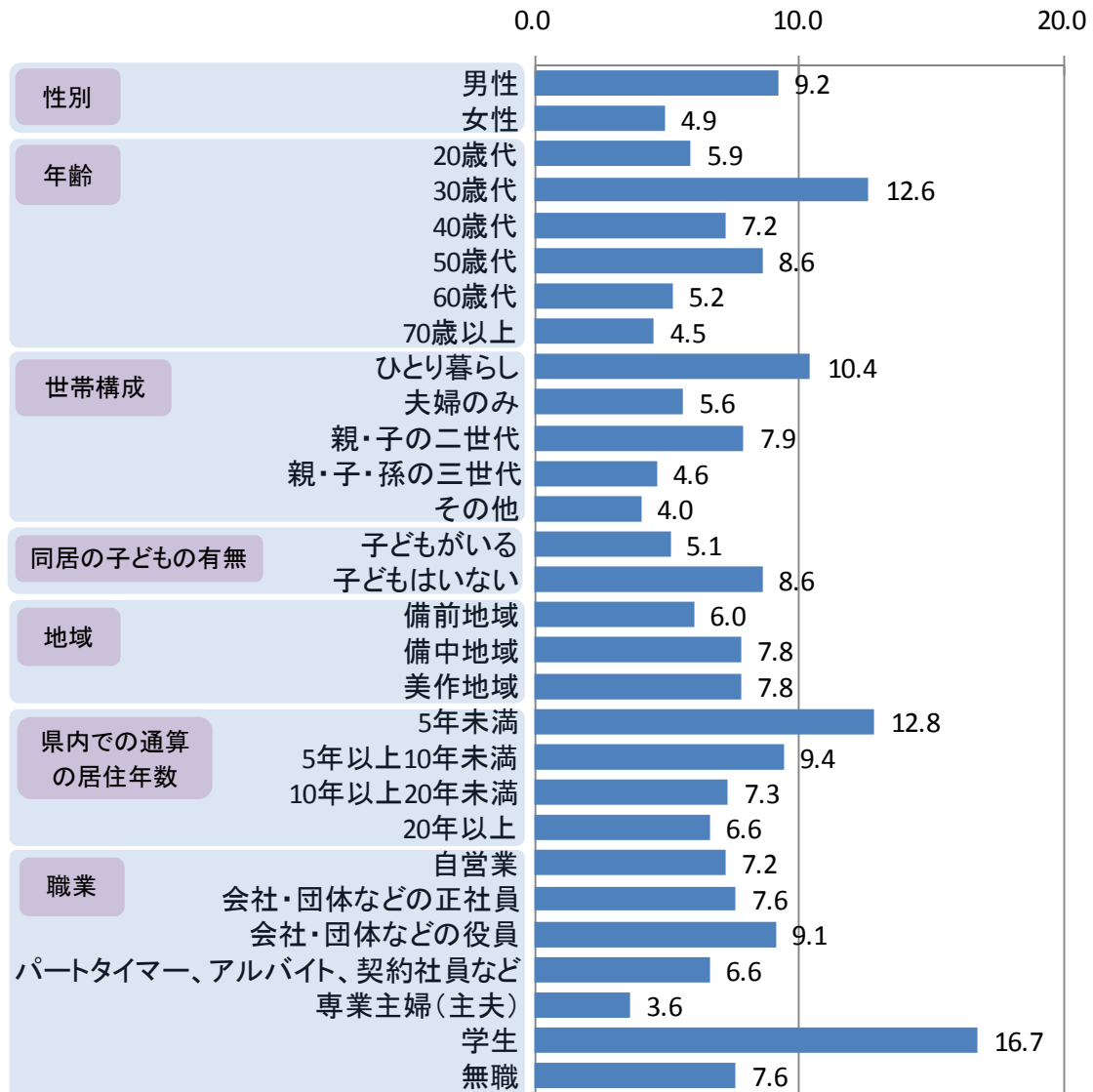
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「このような活動があることを知らなかった」を属性別にみると、年齢別では、「70歳以上」が10.3%と低くなっている。また、年齢層が高くなるにつれ割合が低くなっている。地域別では、「美作地域」が12.4%と低くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年以上10年未満」が31.3%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの正社員」（22.7%）、「専業主婦（主夫）」（21.4%）、「学生」（33.3%）が高くなっている。

【協力できそうな活動がない】



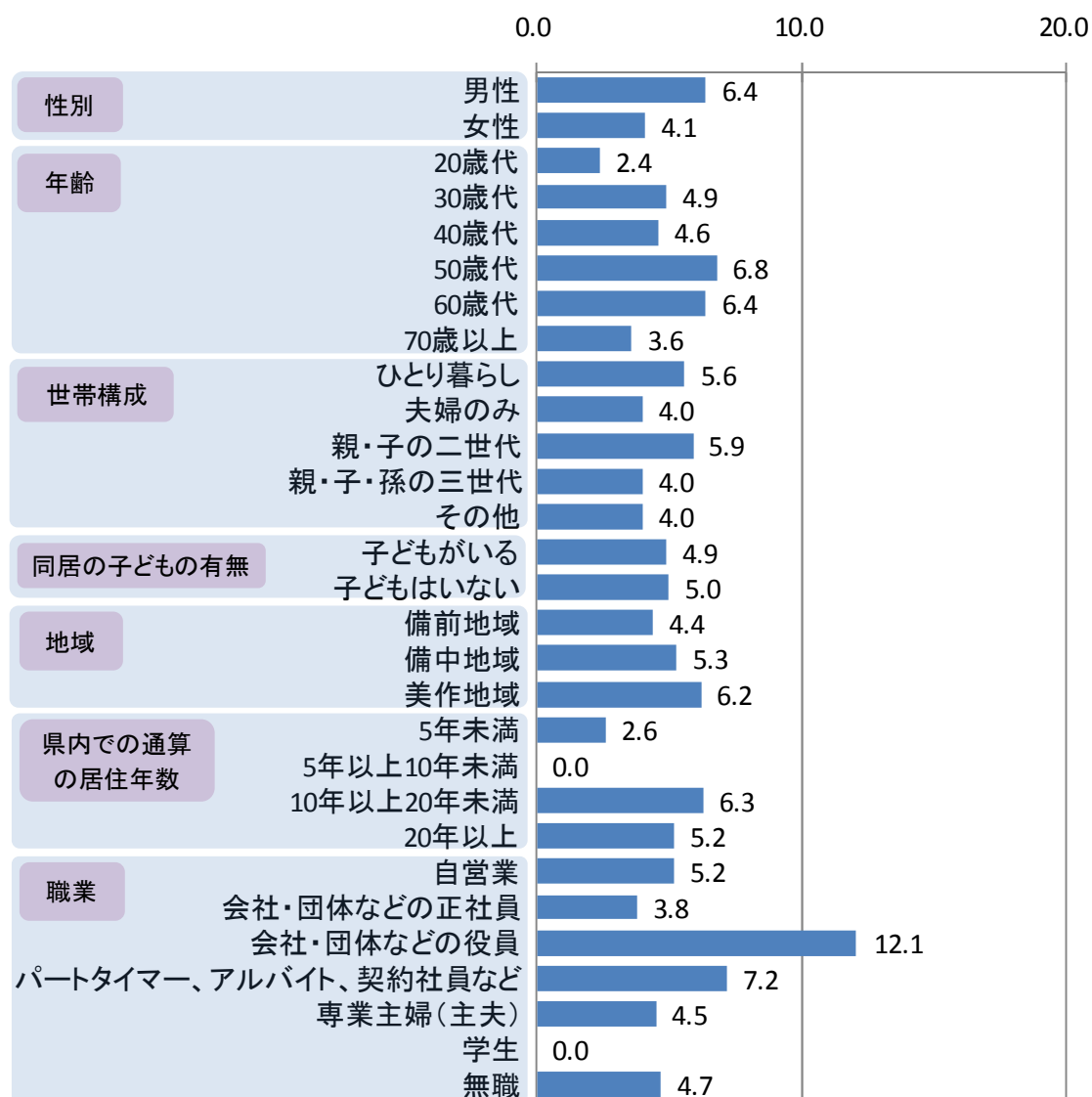
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「協力できそうな活動がない」を属性別にみると、年齢別では、「70 歳以上」が 16.1%と高くなっている。世帯構成別では、「夫婦のみ」が 9.1%と低くなっている。県内での通算居住年数別では、「5 年未満」が 7.7%と低くなっている。

【関心が持てない、活動に魅力がない】



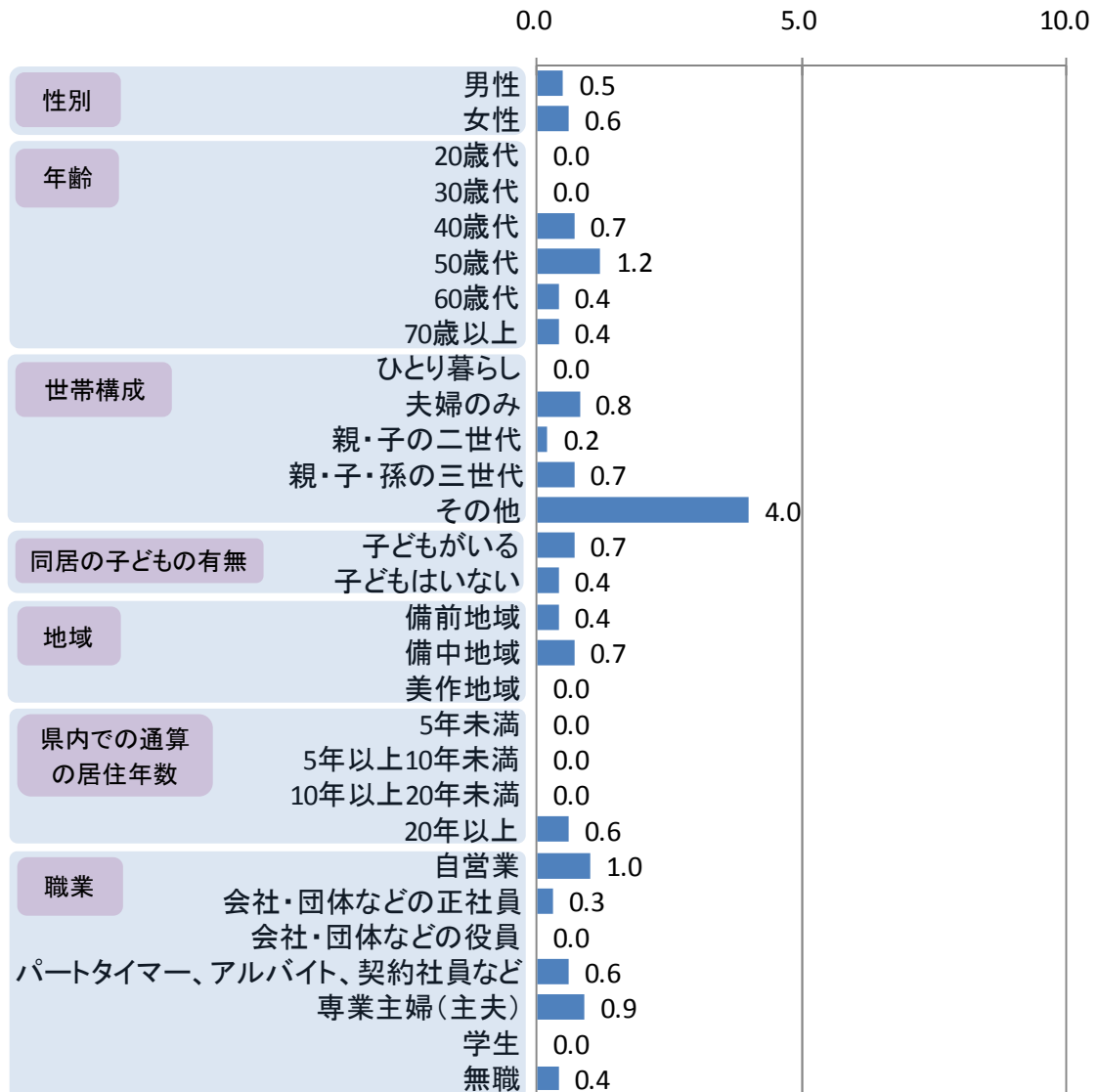
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「関心が持てない、活動に魅力がない」を属性別にみると、性別では、「男性」が9.2%と高くなっている。年齢別では、「30歳代」が12.6%と高くなっている。世帯構成別では、「ひとり暮らし」が10.4%と高くなっている。同居の子どもの有無別では、「子どもはいない」が8.6%と高くなっている。地域別では、「備前地域」が6.0%と低くなっている。県内での通算居住年数別では、「5年未満」が12.8%と高くなっている。職業別では、「専業主婦（主夫）」が3.6%と低くなっている。

【学校の活動に参加するのは敷居が高い】



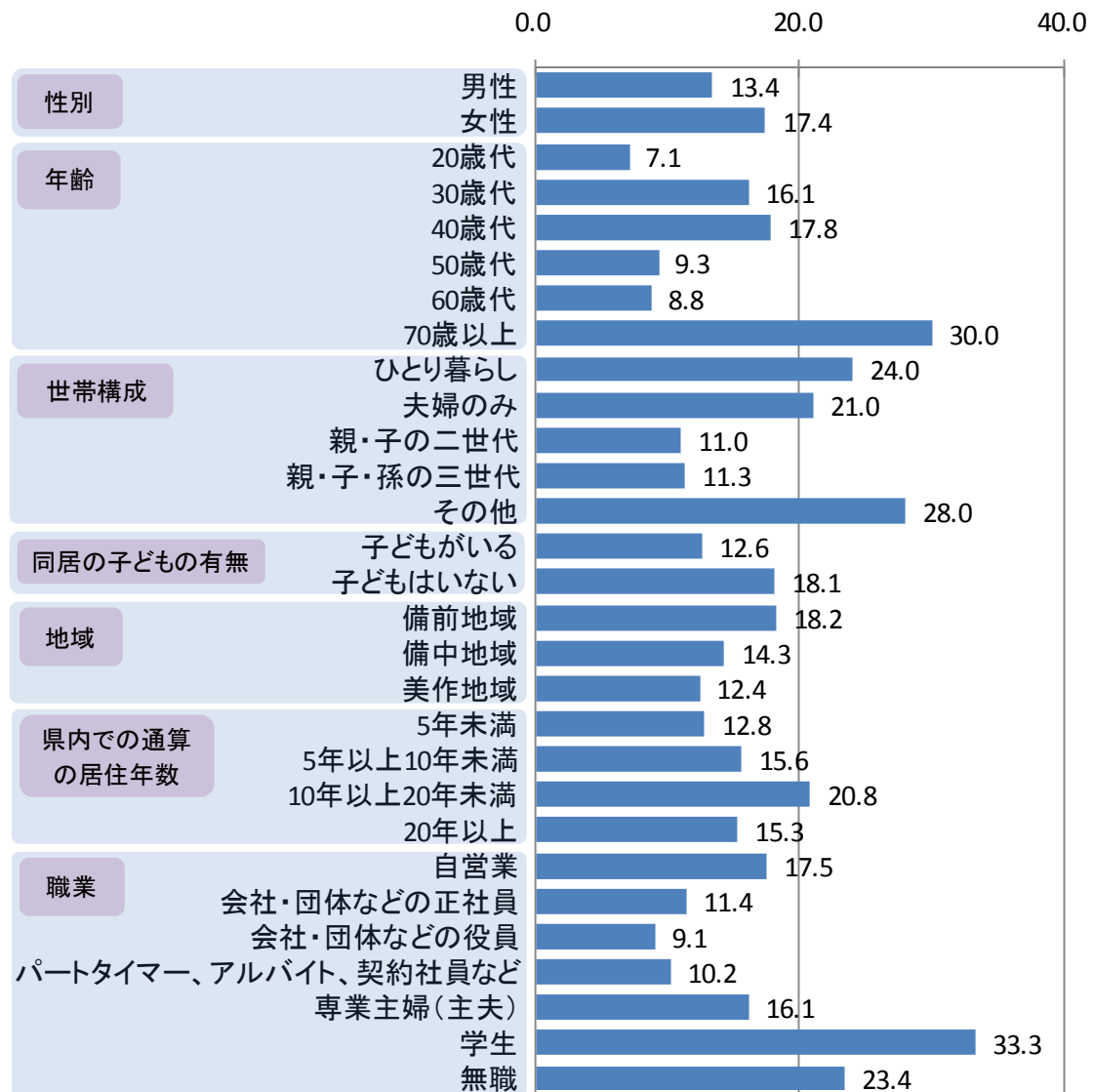
学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「学校の活動に参加するのは敷居が高い」を属性別にみると、性別では、「男性」が 6.4%と高くなっている。年齢別では、「50 歳代」が 6.8%と高くなっている。世帯構成別では、「親・子の二世帯」（5.9%）、「ひとり暮らし」（5.6%）が高くなっている。地域別では、「美作地域」が 6.2%と高くなっている。県内での通算居住年数別では、「10 年以上 20 年未満」が 6.3%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの役員」が 12.1%と高くなっている。

【家族の理解が得られない】



学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「家族の理解が得られない」を属性別にみると、年齢別では、「50歳代」が1.2%と高くなっている。職業別では、「自営業」が1.0%と高くなっている。

【その他】



学校支援活動にこれまで参加していない（今後参加したくない）理由について、「その他」を属性別にみると、性別では、「女性」が 17.4%と高くなっている。年齢別では、「70 歳以上」が 30.0%と高くなっている。職業別では、「会社・団体などの役員」が 9.1%と低くなっている。